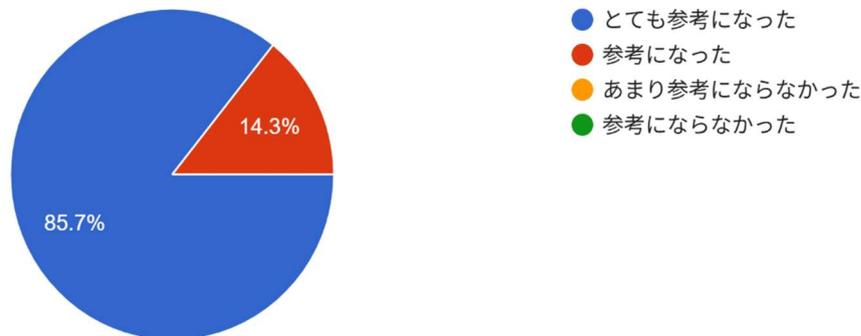


質問1 本日の講演は参考になりましたか

28件の回答

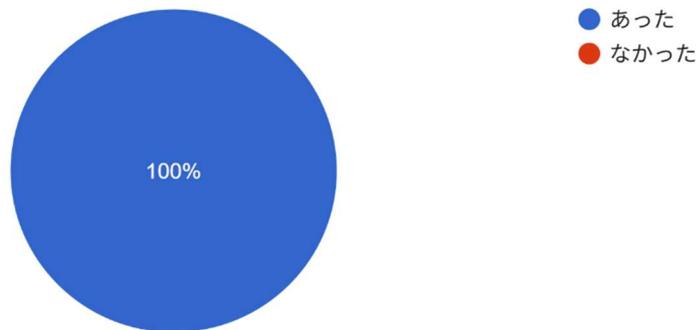


質問2 質問1に対して理由・感想などお書きください 20件の回答

- ・嚥下障害の何思って嚥下障害を起こしているのかを再確認したい。
 - ・摂食・嚥下の知識を深める事ができた
 - ・在宅時における介入の難しさややりがいを具体的に学ぶことができました
 - ・話の内容が面白かった
 - ・施設が強化型は変わり、在宅復帰に向けた指導が増えたため。
 - ・現在施設で在宅復帰に関わっているが、利用者だけでなく家族との関わりをもう少し密に取っていかなくてはと感じた。
 - ・お茶ゼリーの発明者だったことに驚きました
 - ・江頭先生の熱量に、改めて、自分が出来ることまだある事、まだやっていないことがある事を確認出来ました。ありがとうございます
 - ・アセスメントは弱点しか見てなかったけど、強みを見るのが大切だと思いました。
 - ・実践の先生のお話はとてもわかりやすくなりました。
 - ・誤嚥はあっても誤嚥性肺炎にしない！の言葉が刺さりました。
 - ・実体験をたくさん聞けたので勉強になった
 - ・在宅の目線でお話を聞いてよかった
 - ・低栄養と誤嚥が密に関連があることを改めて、理解することができた
 - ・食に関するアセスメントにおいて見るべきところがわかった。
 - ・在宅栄養士だからできることや工夫について、あまり深く話を伺ったことがなかったため非常に参考になりました。
 - ・施設で、嚥下の悪い方が増えていて、ミキサー食の食数も多い。これからは美味しい嚥下調整食が必要だと思う。
 - ・低栄養は嚥下障害を誘発する
- 在宅で管理栄養士業務を行なっている方のお話を伺うのは初めてです、1人1人の利用者さまに合わせて、食事支援をされている様子がよく分かりました。
- ・在宅だけでなく、入所の方にも実践できる内容だった。

質問3 新たな学びはありましたか

26件の回答

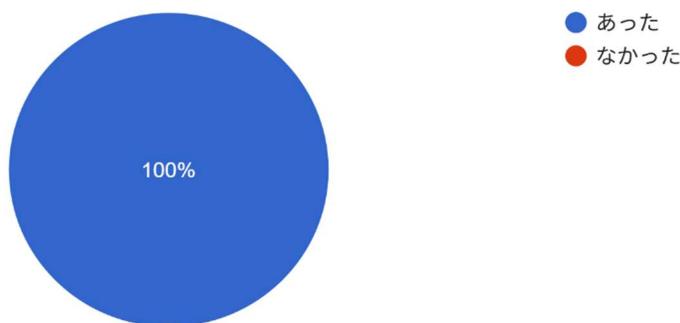


質問4 質問3で「あった」と答えた方にご記入ください 20件の回答

- ・低栄養でも嚥下障害を起こす。見直してみたいと思った。
- ・飲み込みには咀嚼を促すこと
- ・嚥下に対する理解が深まった。
- ・食事観察の極め方や在宅での形態変更の難しさ
- ・訪問をバイトでやっているのが参考になりました
- ・在宅で得られる情報の多さ。在宅復帰時には退所前訪問として管理栄養士も付いて行く方がより個別性のある食支援に繋がれると思いました。あとはそれを評価してくれる体制になれば...
- ・コミュニケーションの大切さ、食べるに関わる知識の必要性を再認識した。
- ・包括的な視点で支援する重要性を再確認した
- ・自分から動かないと始まらないなと思いました。
- ・低栄養が、嚥下障害を引き起こすこと
- ・食べられるようにするだけでなく、失敗したときに耐えられるようにすることが大事だと思いました。
- ・利用者様と家族との関わりをもっと広く持とうと思いました。
- ・スクリーニングの方法など学びになった
- ・食事場面でも、もっと写真や動画を活用しながらケアしていこうと思った
- ・脱水に関して、水分摂取量だけではなく尿量や性状も重要だということ。
- ・利用者さま一人ひとりにもっと向き合っていこうと思う
- ・先入観を持たない
- ・主観を入れず事前情報を把握することが大切という考え方を知れたこと
- ・ご利用者様をどんな視点でみたら良いかが分かりやすかった。
- ・居宅での栄養アセスメントの仕方は、やはり施設よりも、その個人や家族の生活を観察し食べられるように支援していく術を身につけていかなければならないと感じた。またその術は施設にも繋がれるものも多くあったので今回とても勉強になった。

質問5 自施設で実務に活かせる又は、活かしたい内容はありましたか

28 件の回答



質問6 質問5で「あった」とお答えの方は内容をご記入下さい

23 件の回答

- ・個々人とよく向き合い利用者様の健康維持管理に努めていきたい。
- ・観察ポイントなど
- ・低栄養は嚥下障害を誘発することを踏まえ、リスク者へ早期介入出来るよう観察を行いたいと思いました
- ・嚥下食工夫したい
- ・舌の能動的移送、(低栄養に由来して嚥下障害を起こしている場合の)IN 再検討
- ・評価、アセスメントに力を入れて再勉強しようと痛感した。相手を知ることを見ながら接してみようと思う。
- ・在宅復帰される方への栄養指導について、事前にご家族への聞き取る内容を増やし、具体的に行えるようにしたい
- ・喉元ばかりみていましたが、口の動きもみること。
- ・ミールラウンドでは、どうしてもリスク重視になりやすいため、利用者の強みを活かせる支援をしたいと思います。
- ・先入観をもたないようにしたいと思います。
- ・ミールラウンドでの観察をもっと広い視野でみようと思いました。
- ・誤嚥リスクに恐れず対応したいと思います
- ・失礼のない聞きとり方
- ・スクリーニングや他職種との関わり方
- ・美味しく、栄養価の高い嚥下調整食
- ・食事介助をする際、嚥下のあとに呼気で唇が少し開いた際に次の一口をいれるとスムーズに食事が進むことが分かったため試したい。
- ・在宅復帰する方、そのご家族へのアドバイスなど
- ・アセスメントについて、つい弱みばかり見がちだったため強みもよく見ていこうと感じました。
- ・食事介助の方法の見直し
- ・課題の抽出
- ・食事観察の方法

- ・自分のできる所からご利用者様、ご家族の方に関わっていただけらと思いました。
- ・知識としてももちろん学べたのですが、他の職種の主観に流されないというのが、まさに自施設で活かせると思いました。

質問7 部会運営へのご意見があればご記入下さい 8 件の回答

- ・いつも研修ありがとうございます。
- ・今回も開催ありがとうございました。やはり対面だと貰えるパワーが段違いですね。研修の周知方法ですが、ここ最近事務で捨てられてしまっているのか、FAX が手元に来ず…。今回の研修も老健協会のサイトを見て把握した次第です。可能なら、ざっくりでもいいので研修の年間計画があれば(勤務を組む上でも)見通しも立てやすいのですが…。当施設の事務には捨てないよう伝えますが、役員様で上記ご検討頂けると非常に嬉しいです。
- ・いつも運営ありがとうございます。次期役員さんが揃って円滑に引き継ぎできることを祈るばかりです。
- ・本日は貴重な研修をありがとうございました。
- ・いつもありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます。江頭先生の駆け出しの頃のお話を聞けて、どんなに有名な先生もそういう時代があったのだなと引き込まれました。知識習得とともに、パワーももらった研修でした。ここ2年では1 番ためになる研修でした。是非、江頭先生の第二弾もお願いします。
- ・研修会に参加して、色々なお話を聞くことが出来て良かったです。
- ・いつもありがとうございます。本日もためになる研修会でした。

以 上